



7月24日、「住みよい春日部をつくるみんなの会」(略称・みんなの会)は、10月19日告示、26日投票でおこなわれる春日部市長選挙にうづき武彦氏を擁立することを決定しました。

住みよい春日部をつくるみ



発行
日本共産党
春日部市委員会
春日部市粕壁東
6丁目7-12
電話 748-5159
FAX 748-5179

市長選

うづき武彦氏を擁立

住みよい春日部をつくるみんなの会

みんなの会は春日部市内の労働組合や市民運動団体など14団体で構成されています。政党では日本共産党が参加し、1989年に結成されて以来、これまでの市長選挙に6回候補者を擁立してきました。

誰もが安心して暮らせる街に

うづき武彦氏は、日本共産党市議会議員を7期27年間務めた試され済みの市政を知り尽くした政治家です。また、春日部原水爆禁止協議会の役

うづき武彦氏は、日本共産党市議会議員を7期27年間務めた試され済みの市政を知り尽くした政治家です。また、春日部原水爆禁止協議会の役

5つの基本政策(重点政策)

1. 暮らし第1のあたたかいまちに
 - ・国保税・介護保険料の引き下げ
 - ・水道・下水道料金引き下げ
 - ・「地産地消」推進、農業後継者育成
2. 福祉・医療充実のまちに
 - ・デマンド交通導入、「春バス」充実
 - ・保育所増設、待機児童解消
 - ・77歳に1万円の敬老祝い金贈呈
3. 教育文化スポーツの豊かなまちに
 - ・学校給食費の無償化
 - ・庄和地域の学校給食も自校調理に
 - ・温水市民プールの設置
4. 災害に強く自然と環境にやさしいまちに
 - ・道路・側溝・街路灯など生活環境整備
 - ・公園・緑地・緑道の整備
5. 憲法を暮らしに生かすまちに
 - ・市民サービス向上、正規職員の増員

員を長い間担い、平和と核兵器廃絶をライフワークとして取り組んできました。

今回の市長選挙にあたり、

「誰もが安心して暮らせるあたたかいまちに」をスローガンに掲げ、5つの基本政策を

発表しました。特に

● 学校給食費の無償化

● 高すぎる国民健康保険税・介護保険料・水道・下水道料

金の引き下げ

● デマンド交通の導入・「春バス」の充実

を重点公約に掲げています。

大きなご支援をよろしくお願いいたします。

誰もが安心して暮らせる

あたたかい市政実現へ

スタート集会

・ 9月14日(土) 14時

・ 市民文化会館中会議室1

＜生活相談は日本共産党へ＞

並木としえ TEL 090(3916)0168 大野とし子 TEL 090(7843)4945

今尾やすのり TEL 090(1032)4833 木下みえ子 TEL 050(3559)1640

日本共産党市議団ホームページ <https://www.jcp-kasukabe.jp/>



市民のくらし、命を守るのは市の仕事です

2025年 自治体要請キャラバン実施

7月24日(木)春日部社会保障をよくする会は、埼玉県社会保障推進協議会と共に、自治体要請キャラバンを行いました。25人が参加しました。シティーセールス広報課の進行で、国民健康保険、収納管理、介護保険、高齢者支援、障がい

者支援、保育、こども育成、学校給食、生活支援の課長等が参加しました。

県の社会保障推進協議会を代表し、医療生協の伊藤氏から「県内63自治体をキャラバンとして回らせていただいています。自治体とのやり取りを通して、社会保

主な要望項目

- ① 県が決めた「第3期国保運営方針」の見直しを
- ② 国保税の子どもの均等割の免除、または多子世帯への減免を
- ③ 訪問介護利用料の負担軽減の継続を
- ④ 高齢者が耳の聞こえに関心をもてるように、「聞こえチェックリスト」等を活用し、啓発活動を
- ⑤ 免許返納者等を含め、高齢者の移動手段の確保を
- ⑥ 災害時、医療的ケア児の電源確保など迅速な対応を
- ⑦ 小中学校、保育園、幼稚園の給食費を無償に
- ⑧ 学童保育支援員を確保し、処遇の改善を
- ⑨ 生活保護のつなぎ資金は、市の責任で一括で貸し出しを

障がよりよくなることを願っています」と挨拶がありました。

以下、みなさんからの切実な声を紹介します。

生活保護申請時の「つなぎ資金」は、市の責任で

〈国保税の徴収〉

第3期方針は、所得300万円の家族が年間10万円を超える値上げです。

徴収において、売り掛け金まで差し押さえることなく最低生活費を保障してください。



切実な願いを訴える参加者

〈災害時医療的ケア児の対応を〉
災害時、医療的ケア児は電気がないと生命維持が困難です。迅速な対応ができるようにしてください。

〈聞こえチェックリストで、啓発を〉
高齢者が自分の聞こえ方に関心を持てるように、「聞こえチェックリスト」に取り組み、補聴器が活用できるようにしてください。

〈高齢者の移動手段の確保を〉
免許返納後の移動に多くの高齢者が不安を感じています。ドアtoドアの移動手段としてデマンド交通など検討してください。

〈つなぎ資金は、市の責任で〉
生活保護申請時のつなぎ資金2万円の貸し付けが5千円ずつ支給となっています。財源不足が理由のようですが、社会福祉協議会任せにせず、市の責任で行ってください。